

事業番号	15 04 07	事業改善シート(28年度実施事業分)		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	特別支援学校センター的機能充実事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
				課・局・室	特別支援教育課		
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援			実施期間	H25 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	自立活動担当教員が地域の小中学校の特別支援学級を巡回し、相談支援を行うことによって、特別支援学級に在籍する児童生徒の障がい特性や教育的ニーズに応じた支援ができるように専門性の向上を図る。 大学教授、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、臨床心理士等の外部専門家を活用し、障がいの重複化・多様化に対応したより高度な自立活動の専門性の強化を目指す。												
現状(予算編成時)	○センター的機能に係る相談件数の状況: 幼保小中高等学校からの相談件数が依然多い状態が続いている。 ○小中学校特別支援学級の学級数、在籍者数の増加により特別支援学級担任の専門性の確保が難しい状況となってきた。 ○特別支援学校の幼児児童生徒の障がいの重複化・多様化が進み、個々の実態把握の困難さや問題行動の対応・予防等、より高度な自立活動の専門性が必要な状況となっている。												
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法74条、特別支援学校学習指導要領 インクルーシブ教育システム推進事業補助					県民との協働による実施: 実施は困難						
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)												
	○各特別支援学校の自立活動担当教員が、地域にある小中学校の特別支援学級390学級(全県)に対して巡回相談支援を行う。 ○外部専門家派遣を1校あたり3~4回程度実施。												
	② 事業内容 (単位:千円)												
		項目	実施方法	H28実施内容	H27(当初)	H28(要求)	H28(予算案)	H29(予算案)					
	自立活動巡回支援事業	直接	・自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学級への巡回相談支援。	0	1,013								
	特別支援学校外部専門家派遣事業	直接	・外部専門家を各特別支援学校18校に派遣し、児童生徒に対する自立活動の指導の充実を図る。 {対象となる外部専門家: 大学教授、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、臨床心理士等}	1,093	1,517								
	合計			1,093	2,530		0						
事業コスト	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末(見込)	H28			H29目標
		当初予算	1,096	1,093	2,530	目標				成果	達成状況		
		補正予算											
		合計(A)	1,096	1,093	2,530	0							
	Aの財源	一般財源	731	729	2,025		巡回支援の対象教室	155学級	255学級	390学級			
		県債					外部専門家派遣回数	43回	40回	60回			
		国庫支出金	365	364	505								
		その他	0	0	0	0							
	決算額(B)		924										
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20									
	概算人件費(C)	1,652	1,652	1,652	0								
	概算事業費(B(A)+C)	2,576	2,745	4,182	0								
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)							
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善													
要求からの主な変更点													